

ピースメッセージ #1

JAM S・S さん

「語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和を実現しよう」、戦後80年を迎える今年の平和行動 in 沖縄のテーマである。

1 日目の平和オキナワ集会での「新たな安全保障を目指して!」と題した基調講演では、災害支援・人道支援を切り口にした米軍の日本での新たな共存についての提言があり、日米両者にとって有益となる建設的な議論のスタートとなることを期待しつつ、その発想に感銘を受けた。

2 日目のピースフィールドワークでは連合沖縄青年委員会の方々の親切なガイドのもと、糸数アブチラガマ、ひめゆりの塔、魂魄之塔、平和記念公園を訪問し、見学・学習をしたが、沖縄戦での戦没者は軍人よりも住民の方が多い事実、その実相の一端を感じることができた。

戦争は絶対に許されない。日常の中で強く意識をすることはなかったが、今回の平和行動に参加して、心より恒久平和の実現を願うとともに、周囲の人へも呼びかけをしたい。



ピースメッセージ #1

JAM T・D さん

2025 平和行動in沖縄に参加させていただきました。

6月23日に行われた平和沖縄集会では、実際に戦争があった時、自分はどのような行動をとるべきか考えさせられました。24日には戦時中に実際使用された系数アブチラガマに入り戦時中どのような状況下であったのか、地元ガイドに説明を頂きました。戦時中は暗いガマの中で、恐怖と不安の中で身を隠していたことを思い何とも言えない感情でした。

その後ひめゆりの塔や平和記念公園など見学させていただき、戦争の悲惨さなど改めて痛感しました。その思いの中、デモ行進を行い、今の発展した沖縄の街並みなどを見たとき、このような幸せな光景が見えるのも、戦時中から今まで築き上げた皆様がいるからこそ今があると思います。私ができることを行うために、平和を願う気持ちや、平和であるありがたさを後世に伝えていきたいです。

最後に貴重な体験をさせていただき、また運営に携わった方皆様に感謝いたします。



ピースメッセージ #2

青年委員会 S・T さん

戦後 80 年という節目であるこの年に、組織を代表して平和行動に参加させていただいたことに、まず感謝を申し上げます。

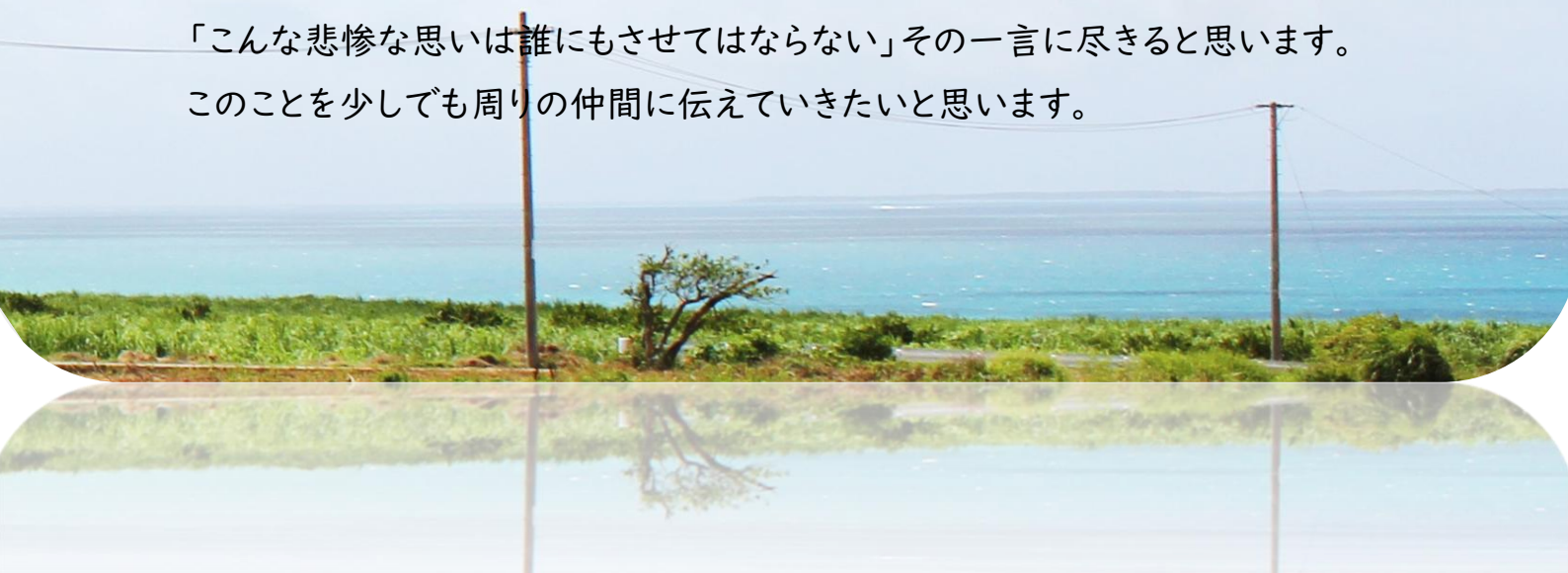
沖縄戦は、太平洋戦争時日本で民間人を巻き込んだ地上戦が行われたことについては、知識として把握はしていましたが、実際に現地へ行き、集会に参加し、ピースワークを肌で経験することで真の平和の尊さを感じることができました。

ピースフィールドワークでは、地下病院として使用された「系数アブチラガマ」に実際に潜り、当時の悲惨さを思いめぐらすことができました。また、「ひめゆりの塔資料館」「平和記念公園資料館」では今まで知らなかった地上戦の実態や犠牲になられた方の残された声を知ることができました。

沖縄戦での犠牲者は、軍属と比較して民間人が圧倒的に多く、県民の 4 人に一人、20 万人以上の方が亡くなっています。多大な犠牲のもとに現在の日本・沖縄の発展があることを深く感謝いたします。

なぜ労働組合は戦争に反対するのか。今までは、頭ではわかっているも心のそこでは理解できていない自分がいましたが、今回の平和行動で心から納得ができました。

「こんな悲惨な思いは誰にもさせてはならない」その一言に尽きると思います。このことを少しでも周りの仲間に伝えていきたいと思います。



ピースメッセージ #3

自動車総連 U・H さん

6月23日～24日にて2025年平和行動in沖縄に参加させていただきました
今年で戦後80年という節目の年に参加させていただき感謝いたします
1日目の連合2025平和沖縄集会では新たな安全保障を目指してと題して
基調講演が行われ日米の関係がよりよくなり安全に安心して生活していける
ように期待を抱きました

2日目のピースフィールドワークでは系数アブチラガマ・ひめゆりの塔・魂魄の
塔・平和祈念公園をめぐり実際に戦争のあった跡地を訪れ当時の状況を見たり
聞いたりして戦争の悲惨さを改めて実感し尊い命が失われた悲しみに触れ
とてもやり切れない気持ちになりました
今回の平和行動を通じて改めて平和について考えさせられました

戦後80年となり私も含め戦争の悲惨さを知らない人が増えてきている中で
今後同じ過ちを繰り返さない為に次の世代へ戦争の悲惨さを伝えていかなければ
ならないと思います

私にできる事として家族・友人・同僚など周りの人に今回体験・経験した事を
伝え平和の祈りと共に平和な世界の実現に向け行動したいと思います



ピースメッセージ #3

自動車総連 T・M さん

那覇空港に近づくにつれて南国の雲一つない青空が私たちを迎えてくれました
80年前に何があったのか、唯一の地上戦が行われた沖縄を学んできました

今回2度目の沖縄の平和行動でしたが何度もフィールドワークするうちに多くの
沖縄を知ることができました。ひめゆりの塔をはじめいろいろな資料館や
平和記念公園をまわりましたが、その中でも小学生が書いた手紙が印象的
でした

「なぜこんな悲惨なことをするのだろうか？痛いことをするのだろうか？誰かが止め
ようと言わなかったのだろうか？」やめる勇気というものが無かった当時かもしれ
ませんが、その一言があったら悲惨な沖縄戦の犠牲者が減っていたかもしれ
ません

この戦争を風化させないように、今の平和という考え方を未来へ繋いでいく
必要があるんだと感じました

